

教科 科目名	国語	単位数(週あたりの授業時数)	3 単位
	言語文化	履修学年(類型)	1 学年
教科書名(出版社名)		精選言語文化(東京書籍)	

### ●学習到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

### ●学習計画

学期	月	単元名	学習内容
1	4・5月	古文(古文入門)	文語のきまりを理解し、説話のおもしろさを読み取るとともに、登場人物の言動や心情を理解する。
	6月	現代文(小説)	極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考えるとともに、原作と読み比べ、理解を深める。
	7月	漢文(漢文入門)	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言や故事成語の元になった話を読むことを通して、漢文の読解に慣れ親しむ。
2	9月	古文(随筆)	随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉えるとともに、作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方や感じ方、考え方を深める。
	10月	漢文(寓話)	漢文特有の読み方に慣れるとともに、話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。
	11月	古文(物語)	歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉えるとともに、当時の恋愛や結婚についての理解を深める。
	12月	漢文(史話)	話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わうとともに、歴史書についての理解を深める。
3	1月	古文(日記)	表現の特色を踏まえて作品に込められた意図を考え、和歌を詠むに至った経緯や和歌に託された心情を読み取る。
	2月	漢文(漢詩)	漢詩の形式やきまり、古典特有の表現について理解し、優れた表現に親しみながら漢詩に描かれた情景や心情を読み取る。
	3月	現代文(詩歌)	リズムや形式の特徴と表現効果を理解し味わいながら、言葉に込められた作者の心情や主題を読み取る。

### ●観点別評価

3観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
A	知識を問う問題にはほぼ解答できる 身につけた知識を応用できる	本文の内容をつかみ、根拠とともに説明している	自分の意見を論理的に伝えようとしている
B	基本的な発問に答えられる 基本的な知識を理解している	本文の内容を読み取っている	自分の意見をまとめようとしている
C	基本的な発問に答えられない 基本的な知識を理解していない	本文の内容を読み取っていない	自分の意見をまとめようとしていない
評価方法	定期考査 発問に対する答え	定期考査 発問に対する答え	授業や課題等に取り組む姿勢
評価の重み	$\alpha=0.4$	$\beta=0.4$	$\gamma=0.2$